

# ごあいさつ



理事長  
村山 寛司

平素より東京信用保証協会に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
このたび、平成29年度の事業活動ならびに平成30年度の経営計画についてご報告するディスクロージャー誌「東京信用保証協会レポート2018」を作成いたしました。ぜひご一読いただき、当協会の取組みについてご理解を深めていただければ幸いです。

平成29年度の国内経済は、大企業を中心とした企業収益の堅調な推移等を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、海外経済の不確実性等から、先行きへの不透明感が払拭できない状況が続きました。

中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は、業績回復傾向の企業がある一方で景気回復の実感は乏しく、後継者問題の深刻化や人手不足等の影響もあり、依然として予断を許さない状況が続いた一年でした。

こうした状況のもと、国は、成長戦略等を踏まえ、引き続き創業支援や借換保証を推進する施策を講じるとともに信用保証協会による経営支援強化促進事業の充実等を通して地域経済の発展・成長を後押ししました。また、中小企業・小規模事業者の事業の発展を支えるため、様々な経営状況において円滑な資金調達が可能となるよう「中小企業の経営の改善発達を促進するための中小企業信用保険法等の一部を改正する法律」を平成30年4月1日から施行することとしました。

東京都は、中小企業・小規模事業者の資金繰り支援と地域産業の活性化を進めるため、制度融資における「ビジネスチャンス・ナビ2020連携特例保証制度」の創設や経営支援融資の保証料補助の拡充を図る等、諸施策の推進に取り組みしました。

このような諸情勢を踏まえ、当協会では、国、東京都、および区市町村の制度融資等を積極的に活用するとともに、経営改善・生産性向上などお客さまの様々な経営課題の解決に向けたサポートを推進し、金融支援に経営支援を組み合わせた、よりきめ細やかな中小企業支援にも取り組んでまいりました。

金融支援においては、創業、事業承継および事業再生に係る保証制度に注力するとともに、「創立80周年記念特別保証制度」、「健康企業応援・ダイバーシティ推進保証制度」といった独自制度を通じ、金融機関と連携して、中小企業・小規模事業者の多様な資金ニーズに積極的に応えてまいりました。

また、経営支援の面においては、経営改善計画策定支援等を実施する専門家派遣事業における支援対象の拡大や「経営サポート会議」の積極的な活用による金融正常化支援の推進を行うとともに、個別企業の支援事例等について「東京企業力強化連携会議」(元気・東京ネットワーク)において情報の共有化を図るなど、金融機関、関係機関、専門家団体間の連携の一層の強化に努めました。さらに、東京国際フォーラムでのビジネスフェアを通じたビジネスマッチングや、大学との共同公開講座の開催、各地域のビジネスフェア等のイベントへの参加にも引き続き注力し、多面的に展開してまいりました。

今年度も、金融機関、関係機関との連携をより一層深めつつ、お客さまである都内中小企業・小規模事業者の皆さまと真摯に向き合い、しっかり支え、ともに歩んでいく存在としての役割を果たすべく、役職員一同これまでにも増して取り組んでまいります。引き続きご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成30年5月